群馬県議会・新星会
金子わたる事務所
〒377-0007
渋川市石原144-1
電気センタービル2F
☎0279-26-3841

いよいよ新年度。頑張りましょう!!

ご卒業、ご入学おめでとうございます。
『わ・わ・わ通信』の金子わたるです

金子わたるの県政・議会報告
【わ・わ・わ通信】

皆さまにおかれましては、ますます元気にご活躍のこととお慶び申し上げます。

2月16日～3月12日まで県議会が開かれ、少子化対策、医療・介護の充実、観光立県ぐんまの推進、道路整備、地域創生交付金事業など、7159億6600万円の平成27年度一般会計予算が決まりました。世界遺産・富岡製糸場の保存活用と絹産業の振興も重要施策です。

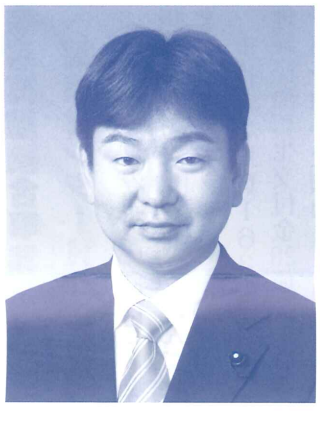
1～2月には冬季国体が開催され、北陸新幹線も金沢まで開通しました。もっと群馬をPRし、さらなる県政発展のために全力を尽くしてまいります。

渋川市も、移転が完了した警察署の周辺整備、H28年4月開院予定の渋川医療センター建設、北橋運動場、敷島―中郷架橋など、地域の重要課題に取り組んでいきます。

県議会議員として皆さまのご意見を聞きながら、元気なぐんま・しぶかわをつくっていきます。これからも変わらぬご支援・ご協力・ご助言をよろしくお願いいたします。

皆さまがよい新年度のスタートをきれますことと、ご健康とご多幸をお祈りいたします。

群馬県議会議員　金子渡



渋川警察署移転完了
免許証即日交付に

ベイシア渋川店南東に移転された渋川警察署の落成式が2月12日に行われ、業務が開始となりました。

新庁舎は敷地が以前の約3倍、庁舎は鉄筋コンクリート造5階建で約3・7倍となり、県内で3カ所目となるけん銃射撃場も併設されました。

運転免許証が即日交付となり、交通安全協会の新事務所も3月29日に落成式が行われました。

渋川警察署（左側が射撃場）

高崎競馬場跡地
コンベンション施設計画

基本計画の見直しが行われていた、高崎競馬場跡地コンベンション施設計画が示されました。1万6000㎡とされていた展示施設を当初は1万㎡とし、将来的には2万㎡まで拡張できるよう変更します。

私たちの会派では、早く収支計画を示すことや、県内他施設と競合しないこと、県全体の活性化につながることを提言していきます。皆さんのご意見・ご感想をお聞かせください。

会派で展示会の調査に
（東京ビッグサイト）

地域包括ケア勉強会
グループディスカッション

地域包括ケアシステム推進
特養・老健は各20床

20年後には3人に1人が65歳以上となる中、要介護になっても住み慣れた地域で生活ができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めていきます。渋川地区ではH27年度に国の医療と介護の連携の実証事業に取り組みます。

また、27～29年度の高齢者福祉計画では、市内に特別養護老人ホーム20床、介護老人保健施設20床が計画されています。

大雪による農業被害
ハウス再建予定74％

昨年2月の大雪被害で倒壊したハウスの再建は47％を超え、資材調達の目途が立ち今後は更に進む見通しです。

しかし、国・県・市町村で90％補助にも関わらず、ハウスの再建予定は被害を受けた640ha中、476haと74％にとどまります。

高齢化などが要因ですが、群馬のハウス農業復活に向けて取り組んでいきます。

大雪で倒壊したハウス

子ども・子育て支援新制度
移行支援1億1213万

4月から始まる新制度に移行する私立幼稚園は、国の基準では減収となるため、現在の県の水準を維持するため県単独で1億1213万円を補助します。

また、施設型給付の県負担分として5億1500万円を市町村に対して補助します。なお、市内幼稚園は、H27年度に施設型給付への移行予定はありません。

第3子以降3歳未満児
保育料無料化

子育て世帯の経済的負担軽減と人口増加に向けた取り組みを推進するため、すべての第3子以降3歳未満児の保育料が無料化されます。

保育園と認定こども園が対象で、県と市町村で2分の1ずつ補助します。

更なる子育て支援の拡充を

1歳児の保育士加配
アレルギー対策にも補助

1歳児に対する保育士配置を国基準の6対1から5対1に充実するための県単補助や、食物アレルギー児童の対応への調理員配置や給食設備に係る経費を、県と市町村で補助します。

中学校卒業までの医療費無料化も継続して実施されます。

「子どもを育てるなら群馬県」をめざしていきます。

観光消費額増加へ
プレミアム付き商品券

国の交付金15億3000万円を活用し、助成率50％（額面5000円を2500円で販売）の宿泊券を40万枚発行します。使用期間はH27年7月～28年1月です。

販売方法や購入限度額などはこれから検討しますが、一過性にならないアイデアが必要です。

ぐぐっとぐんま
前年比5・5％プラス

H26年度ぐぐっとぐんま観光キャンペーン（10～12月）は観光客数5・5％増となりました。

伊香保では、1月末に冬季国体も開催されました。

冬季国体おもてなしブース

林業県ぐんまに向けて
県産材利用促進

県産材の利用促進のため、「ぐんまの木で家づくり」支援は新たに内装材に建具割増が創設されました。

わたらせ森林組合では木質ペレット生産施設を整備します。

森林資源で地域活性化（ペレット工場）

wa!Wa!Wa!通信
わたるのわ！人の和のわ！対話のわ！
輪が広がるのわ！平和のわ！
2015.4.1 No.121

県と渋川の連携いろいろ

ホームページ http://k-wataru.jp
E-mail info@k-wataru.jp

赤城行政センター整備、敷島－中郷(浅田)架橋、北橋運動場、消防団装備拡充、渋川医療センター整備

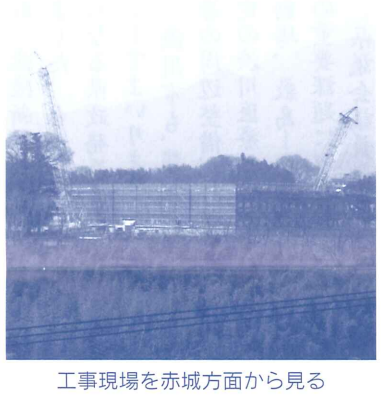
病院再編統合事業 医療センターH28年開院

H28年4月の開院に向けて、渋川医療センターの整備が進んでいます。

市は総事業費163億円の内、地域医療再生交付金28億6100万円を除いた額の450(新病院のベッド数)分の70(渋川総合病院の稼働ベッド数)を負担します。27年度予算は19億1517万円です。

負担をすることで、市民から要望の高い外来診療科目の診療室確保や救急医療、地域医療支援を充実させます。

今後も国・県の支援を要望していきます。


工事現場を赤城方面から見る

6月に行政センター引越 赤城総合支所庁舎解体

H27年度から5カ所の総合支所は行政センターとなり、地区関係団体との調整を主業務とする地域振興係と、窓口業務を担当する市民サービス係の2係となります。

赤城行政センターは旧保健センターに移転し、現在の総合支所庁舎と旧議会庁舎は解体され駐車場になります。1億634万円の予算です。

7月に解体予定の庁舎

敷島―中郷橋りょう整備 H27年度末完成予定

敷島―中郷(浅田)間の橋りょう整備が、H27年度末の完成に向け工事が進んでいます。

全体計画は1300mで、橋りょう整備は橋長135m、幅員10mです。国道17号線の交差点や赤城側、子持側それぞれの市道改良工事も行われます。

27年度予算は3億3678万円です。

橋りょう工事が進む(浅田側から見る)

H26～28年度事業 北橋運動場整備

北橋運動場は八崎と分郷八崎地内に敷地4・77ha、野球場1万4320㎡、多目的運動場(300m陸上トラック、サッカー)1万1160㎡を整備します。

住民から要望の出ていた400m陸上トラックは実現しませんでした。

27年度予算は建築、電気設備工事等で4億1983万円、周辺道路整備(北町上南室線など4路線)で2751万円です。

整地の進む建設地

上信自動車道 豊秋小歩道橋設置 川島で道の駅設計費

上信自動車道・渋川西バイパス(中村上郷線)豊秋小西交差点の歩道橋が完成しました。土曜日の夜間に通行を止めて、上部橋を設置しました。

川島バイパスではH27年度予算で、川島地内に「道の駅」を整備するための測量調査設計委託料4335万円が計上されました。

上信自動車道に係る関連市道整備費として、27年度は1億59万円です。

夜間の上部橋設置工事

市道三国線・高渋バイパス 行幸田地内、みくに橋拡幅

市道三国線(ベイシア渋川店西の市道)は、高崎渋川線バイパスとの交差点改良が計画されています。

ベイシアスポーツ北側で交差しますが、現状の市道の形状では進入角度が足りず交差点が設置できないため、みくに橋を拡幅して形状を変えるものです。

H27年度予算は、工作物補償費として1243万円です。

行幸田地内・みくに橋

消防団用無線デジタル化 装備拡充に3853万円

渋川広域消防本部の無線がデジタル化され、H28年4月からは通信司令室が高崎市および北毛・西毛地区と統合されます。

これに伴い、消防団の無線機と無線受令機も整備され、団員への耐切創手袋配布や林野火災用の背負い式水のう、給水器も整備されます。3853万円の予算ですが、国県補助2203万円や7割が交付税で措置される起債1140万円が充てられます。

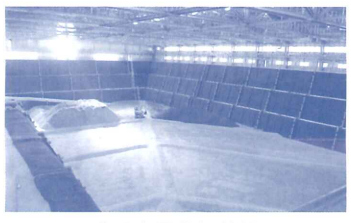
他にも火災対策として、防火水槽新設2基(赤城・古巻地区)や消防ポンプ車1台購入も予算化されました。

H27年消防出初式

小野上地区に 環境学習多目的施設建設

1月9日に小野上最終処分場の竣工式が行われ、搬入が始まりました。

地元要望を受けて建設される環境学習多目的施設の実施設計委託料885万円が、H27年度予算で計上されました。


小野上最終処分場

八幡愛宕線道路改良 2車線歩道付き道路に

分郷八崎～下小室地内で北橋小中学校の通学路のため、児童の交通安全を図ります。

計画全長950mで、幅員は9・25m。H27年度工事は132mです。32年度の完成予定です。

2車線で2.5mの歩道付きに

市道沼辺町田線外3路線 H27年度架橋工事

国道17号線で分断されてしまった半田地区の東西を結ぶ大切な道路整備(計画全長280m)です。

H27年度は6872万円の予算で、スカイテルメ東南の架橋工事(橋長20・5m、幅員12・2m)などが行われます。年度内にすべての事業が完了予定です。

国道17号線側から見る

全国へそのまち協議会総会 へそ祭りと一緒に開催

北海道富良野市など8市町村が加盟するへそのまち協議会の総会が、へそ祭りと一緒に開催されます。

今年のへそ祭りは、新市誕生10周年記念事業として実施されます。